

共生力

HP: <http://ajciee.or.jp/>

Tel : 055-269-6533 Fax: 055-269-6534

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-32-16

甲府丸の内マンション 302

発行人：黒田文男

第17次教育訪中団派遣 第3回日中音楽教育交流 会開催（北京・泰安・青島）



中国宗慶齡基金会表敬訪問記念写真

9月27日（木）～30日（日）の4日間、北京・泰安・青島への、「第17次教育訪中団」の派遣を行いました。これは教育交流派遣事業としての取り組みで、「中国宗慶齡基金会青少年科技文化交流センターの見学及び基金会への表敬訪問と交流」「山東省泰安市東平県の音楽教師との音楽教育を中心とした教育交流＝『第3回日中音楽教育交流会』の開催」また、教育交流支援事業、「東平県の小学校への音楽教育支援の成果の確認」を、主な目的として行われました。訪中団の日程は、宗慶齡基金会基金部項目総合所長劉頴さんを窓口に、山東省泰安市東平県教育局の全面的な協力の下に計画されました。また、「第3回日中音楽教育交流会」については、第1・2回と同様に、日本中国国際教育交流協会・中国宗慶齡基金会・東平県教育局の三者の共催という形で行われました。訪中団の日程は、以下のようになりました。

第17次教育訪中団日程

- 27日（木）北京市
○中国宗慶齡基金会表敬訪問及び「宗慶齡青少年科技文化交流センター」見学
- 28日（金）泰安市（山東省）
○東平県の教育支援を行った学校での音楽授業の参観（夏謝小学校・東平州城道孫崗小学校）
○東原実研小学校で「第3回日中音楽教育交流会」の開催 ※参加者＝日本側（代表団14人）中国側（基金会2人、東平県人民政府2人、東平県教育局5人、教師代表12人）
- 29日（土）青島市（山東省）
○青島市内見学・研修（青島市博物館・迎賓館・監獄旧址博物館・天主教堂他）
- 30日（日）青島市
○市内見学（五四広場他）

また、第17次教育訪中団のメンバーは、以下の方々になりました。

第17次教育代表団名簿

団長	黒田文男	協会代表理事
副団長	金丸 徹	協会評議員
副団長	朽見誠二	協会評議員
	小山 悟	協会評議員
	政金正裕	協会監査
	田中正志	協会公益事業審査委員
	大石茂生	静岡県教組教育研究所長
	大久保徹	千葉県教職員
副秘書長	小串吾郎	山梨県教職員
	岡村淳志	愛知県教職員
	小林美奈子	三重県教職員
	沢田智文	静岡県教職員
	渡邊勇一	茨城県教職員
秘書長	赤岡直人	協会業務執行理事

北京に着いて、早速中国宗慶齡基金会への表敬訪問を行いました。「宗慶齡青少年科技文化交流センター」では、新築応接室で杭元祥中国宗慶齡基金会常務副主席と唐九紅中国宗慶齡基金会基金部部長が待っていてくれました。杭副主席と黒田代表理事の会見を中心に、和やかに実り多い話し合いがもたれました。その中で、財団と基金会との共同プロジェクトについて、今後どのように発展させていくかの基本や方向が確認されました。次の5カ年計画につながる話し合いとなりました。その後、総工費200億円とも言われるセンターの全体像や各階・各部屋での活動について説明を受けた後、



見学を行いました。「素晴らしい」の一言に尽きる施設で、児童生徒ものびのびと活動していました。

東平県に於ける学校訪問・授業参観は、2015

年度から3年間音楽教育支援を行ってきた14の小学校の中から、夏謝小学校・東平州城道孫



崗小学校の2校を訪れました。どちらの小学校も、財団が支援した楽器を使い熱心に音楽の授業を行っていました。特に、夏謝小学校については、4年前に訪れたときとの授業の変化に驚かされました。

「第3回日中音楽教育交流会」は、東原実研小学校の会議室で行われました。東平県人民政府から程鵬副県長・王先海副主任、東平県教育局から何水局長他4名、そして12名の東平県の音楽教師の代表のみなさんの参加を得て、大いに意義のある話し合いがもたれました。



日本の大陸侵略の一つの足がかりでもあり、歴史に刻まれている「五四運動」の地でもある青島での見学・研修は、大いに意味のあるものでした。青島市博物館・迎賓館・監獄旧址博物館等での学習や市内の見学は、中国（特に青島）と日本との古代からの結びつきや近代に於ける負の関係、そして現代のより発展的な経済活動に於ける関係について、大いに学ぶことができました。成果を上げた4日間でした。



『第7回 教育交流ホームステイ』 今年度は山梨県で実施



田中一郎記念奨学金を財源とする教育交流研究等助成事業の一つとして取り組んでいる「教育交流ホームステイ」が第7回となりました。今年は「夏の山梨ホームステイ3日間」ということで、山梨県の先生方の協力を得て、8月3日(金)から5日(日)の2泊3日で行いました。この事業は、「中国人留学生の日本語学習の一助として、日本家庭でのホームステイを体験し、ホストとの交流を通して日本語の語学力を磨き、日本人及び日本文化に対する理解を深め、日中両国の友好の礎を担う人材を育成すること」を実施目的として取り組んでいます。山梨県内各地域の7家庭のホストファミリーに、中国からの留学生(日本語研修生)7名が、ホームステイしました。

ホームステイ日程

8月3日(金) 新宿駅に集合→山梨へ、甲府駅北口ホールでホストファミリーと合流→それぞれ活動にうつる

8月4日(土) ホストファミリーごとの取り組み(各ホストの計画と学生の要望による体験等)

8月5日(日) 午後山梨県教育会館へ集合→ホストファミリーとのお別れ会・総括会→甲府駅改札口で解散

全体交流会での感想発表、ホストファミリーアンケートや留学生のレポートから、7人の留学生・ホストの7家庭とも「とても貴重で忘れられない有意義な時間を過ごせた」との好評を得ました。

ホストファミリーアンケートから

「2泊3日という限られた期間でしたが、留学生と過ごす中で、日本と中国の文化や習慣の違いに気づかされたり、理解を深められたりすることができ、とても貴重な経験となりました。」「一緒に過ごしている間、よくおしゃべりをしました。私たち自身が中国の文化や習慣について初めて知ることばかりで、私たちの方がいい経験をさせていただきました。」「

留学生のレポートから

「今度の活動で日本語を話す能力が上がりました。日本の生活を体験しました。ホストファミリーの皆さんにとってもありがたい気持ちを持っています。家の温もりを感じました。」「今回のホームステイは、日本の美しい風景、面白い文化、おいしい食べ物を教えてくれました。さらに、日本の人々の可愛らしさと優しさを感じさせられました。この旅行は私の人生の中で貴重で忘れられない思い出になりました。」「

お知らせ

教育交流・研究助成事業

「第4回 日中教育文化交流シンポジウム」

日時 2019(平成31)年2月

場所 日本教育会館

内容 日中両国青年による意見交換